

第3章 令和7年度の公民館

3-1 当初予算概要

(単位:千円)

款	項	目	事業	節	当初予算額
10	教育費				
	5	社会教育費			
		1	社会教育総務費		
		2	公民館費		607,254
			1 多様な学習推進事業		4,851
				07 報償費	4,721
				10 需用費	130
			2 地区公民館整備事業		153,994
				1 地区公民館整備事業(松原公民館大規模改修工事)(継続費)	153,994
				12 委託料	6,907
				14 工事請負費	147,087
			3 中央公民館管理運営事業		117,998
				07 報償費	371
				10 需用費	24,638
				11 役務費	3,414
				12 委託料	73,151
				13 使用料及び賃借料	16,404
				15 原材料費	20
			4 中央公民館まつり開催事業		51
				12 委託料	51
			5 地区公民館まつり等開催事業		4,879
				12 委託料	4,879
			6 地区公民館管理運営事業		325,481
				1 地区公民館管理運営事業(金田公民館改修設計委託)(継続費)	315
				12 委託料	315
				2 地区公民館管理運営事業	325,166
				01 報酬	37,347
				03 職員手当等	7,474
				07 報償費	9,263
				08 旅費	630
				10 需用費	52,335
				11 役務費	4,237
				12 委託料	168,954
				13 使用料及び賃借料	44,305
				15 原材料費	30
				17 備品購入費	500
				18 負担金、補助及び交付金	91

3-2 公民館活動方針

はじめに

小学校区にはほぼ1館設置している本市の公民館は地域に密着した運営と事業展開により、様々な年代の市民に利用されており、社会教育と地域活動の拠点として大きな役割を担っています。

本市の公民館活動は多くの町村が合併した1956年（昭和31年）ころから活発となり、以降、組織的な教育活動や継続的な学習活動が広がり、住民自治と地域社会の発展に寄与してきました。

さて、人生100年時代を迎え、不確定で変化が激しい社会を歩みながら、豊かで幸せな人生を送るためには、年齢を問わず生涯のどの時点からでも学びを始め、あるいは学び直すことが重要となっています。個人が自己肯定感を高めると同時に、多くの人とのつながりの中で協働性や社会貢献意識を育みながら、ウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態）を向上させることが求められています。社会教育の推進がこの社会の実現への大きな力となるよう、本市の公民館では、長きにわたり培われてきた経験を支えに、趣味や教養にとどまらず、地域課題から現代的課題まで多くの学習機会を提供するとともに、多様な年代、多彩な属性の人々と関係する機会を生みながら、学びを通した「人づくり、つながりづくり、地域づくり」を進めていきます。さらに、様々な課題を自分事として捉えられる人材や意識を育てるため、国連が提唱する「地域に根差した持続可能な開発のための教育」（ESD）の取り組みを意識した事業を展開していきます。

◆ESD 評価～nadeshiko view～ 5つのポイント

項目	評価のポイント
①気づき	自分の周りに様々な課題や繋がりがあることに気づけたか。
②未来	どんな未来にしたいか考え、望む社会を思い描けたか。
③自分事	関心がわいたり、自分にできることが分かったりし、行動しようと思えたか。
④様々な視点	互いを認め合いながら、様々な視点で物事を考えられたか。
⑤協力	協力することに楽しみを感じ、成果が生まれたり、新しいことが創造できたりしたか。

多様な学習事業の具体的展開

地域の特性を生かしながら、これまで培ってきたものに新たな手法を取り入れ、多様な学習機会をより豊かに創出していきます。また、すべての学習事業で「平塚版 ESD～nadeshiko view～」による評価を実施、その取り組みを検証していきます。

Ⅰ 地区公民館共通事業

【家庭教育学級】

核家族化や地域のつながりの希薄化等を要因とした家庭の教育力の低下が指摘され、教育基本法において家庭教育の重要性が謳われていることから、乳幼児や小中学生の親が相互の交流を図り、家庭教育の大切さを理解されるよう、子どもや親を取り巻く諸問題等に関する講座を開催します。また、家庭教育の重要性を踏まえ、全公民館の事業として、平塚市 PTA 連絡協議会と共催で、家庭教育講演会を開催します。

【シニア学級】

シニア世代を対象に、新しい時代に即応した生き方やシニアの役割等の学習をはじめ、趣味、創作、社会活動に関する講座の開催を通して、積極的な姿勢で社会変動に対処する能力を養っていきます。また、これまでデジタル機器に触れる機会の少なかったシニア世代にデジタルディバイド（デジタル機器利用者との格差）の解消が図れるよう、デジタル機器の操作方法やルールを身に着ける場を設けていきます。

【児童・生徒地域参加事業】

異なる年齢の子どもたちが集団における役割分担や協働意識を学び、文化への趣味、関心を深められるよう、集団活動、自然の中の遊びと鍛錬などに関する講座を開催します。また、将来に希望を持って成長できることを願い、子どもが教えたり、サポートしたりする場面を織り交ぜながら、社会参画意識を醸成する講座を開催します。

【地域をつなぐ連携事業】

地域課題の解決を目指し、地域内の個人・団体・企業など様々な主体と連携した事業を実施します。

2 地区公民館自主事業・ブロック事業

地域の課題を解決するため、地域住民の自発的、自主的な学習意欲を支援する事業を展開します。また、幅広い学習機会を創出するため、参加対象者の区域を広げたブロック（※1）協働による事業を実施します。

※1…市内の公民館を東西南北のグループで分けた単位 1ブロック6館または7館

3 中央公民館事業

【市民大学・市民アカデミー】

市民が継続的・専門的な教養を高め、芸術及び文化に関する知識・技能を習得できるよう、座学を中心とした講座「市民大学」と、体験や実習を交えた講座「市民アカデミー」を開催します。

【ひらつか地域づくり市民大学】

住みよい地域づくりを進めていくための人材育成や地域活動に携わる人材のすそ野を広げ、協働社会の基礎をつくれるよう、課題解決に向けた取り組み方などを学ぶ講座を実施します。

職員研修

公民館職員として意欲を高め、自ら積極的に学び、それを行動に移すことで地域の力を引き出せるよう、地区公民館長・公民館主事・公民館事務員を対象とした研修を実施し、資質向上を図ります。また、社会教育主事を中心とした公民館課題検討部会を組織し、事業展開や管理運営に関する諸課題の解決に向けた研究をしていきます。

地域の人材発掘・活用

地域人材の発掘や、地域の方の特技を生かす場をつくるため、地域活動サポート人材登録制度「知恵袋バンク」を推進します。

地域と学校のつながりづくり

地域と学校が相互にパートナーとなり、子どもたちの「未来の創り手となるために必要な資質・能力」を育めるよう、学校と課題を共有しながら、地域の魅力を知る講座や伝統を体験する講座等を実施し、子どもたちが地域の人や魅力に触れる機会を創ります。また、地域学校協働活動を推進するにあたり、研修・研究や日々の地域交流を通し、公民館主事のコーディネート力を高めていきます。

情報発信の充実

地区公民館が定期的に発行する「公民館だより」において、生涯学習や地域の情報を積極的に発信します。また、市ホームページでの「公民館だより」掲載や事業の募集・結果報告を掲載するほか、ちいき情報局と連携を図り、情報発信の充実に努めます。

3-3 公民館重点目標

ブロック	公民館名	重点目標
	中 央	① 市民団体や市内企業、関係各課と連携した多様な講座を実施し、現代的課題に関する学習機会を提供する。 ② 中央公民館、地区公民館との連携を深めながら公民館事業の企画運営を進めていく。 ③ 若い世代の公民館利用を促進する。
南 ブ ロ ッ ク	崇 善	① 学校や地域団体などの多様な主体と連携しながら、様々な学習機会を提供する。 ② 公民館ホームページや崇善ちいき情報局を活用し情報発信の充実を図る。
	須 賀	① 地域の特性を活かした学習機会の提供やニーズに沿った事業を展開する。 ② 公民館だより・ホームページによる情報発信の充実を図る。
	松 原	① 公民館だよりやちいき情報局を活用した情報発信の充実を図る。 ② 地域各種団体と連携した事業展開を図る。
	富 士 見	① 地域の各種団体、学校等と連携を図り、地域の人材及び地域の特性を生かした多様な学習機会を提供する。 ② 公民館だより・ホームページ・館内外掲示スペースを積極的に活用し、情報発信の充実を図る。
	花 水	① 花水地域の特色をいかした事業を行い、多様な学習機会を提供します。 ② 地域の拠点として地域各種団体や小・中学校等との連携を図りながら活動を進めます。 ③ 公民館だより、地域情報局、ホームページや館内の掲示などあらゆる面で情報発信の充実を図ります。
	なでしこ	① 地域の各種団体との連携、人材の積極的な活用に努め、地域の特色を活かした多様な学習の機会を提供します。 ② ホームページや公民館だよりを活用し、タイムリーな地域情報の発信に努め、より身近で親しみやすい公民館を目指します。

ブロック	公民館名	重点目標
東 ブ ロ ッ ク	大 野	① 公民館運営委員を中心とした自主的な公民館事業企画・運営を推進する。 ② 地域の特性・実情を把握し、公民館に親しみをもってもらえる事業を展開する。
	ハ 幡	① 公民館だよりやちいき情報局を活用した情報発信の充実を図る。(継続) ② 地域各種団体と連携し、子ども達が地域に参加する事業展開を図る。(継続) ③ デジタル機器の使用を推進するための事業展開を図る。(継続)
	四 之 宮	① 公民館だよりやちいき情報局等を活用し、情報発信の充実を図ります。 ② 自治会や地域の各種団体等との共催事業や、地域人材を活用した事業に取り組んでいきます。
	中 原	① 地域のニーズに合った事業を展開する。 ② 公民館だよりや公民館ホームページ、ちいき情報局を活用し、情報発信の充実を図る。
	松 が 丘	① 地域団体と連携し、地域課題に対応するための事業を展開する。 ② 公民館だよりや公民館ホームページ、ちいき情報局を活用し、情報発信の充実を図る。
	大 原	① 公民館だよりやちいき情報局等を活用し、情報発信の充実を図る。 ② 自治会や地域の各種団体等との共催事業や、地域人材を活用した事業に取り組む。
	南 原	① ホームページや公民館だより、地域情報局を活用した情報発信機能の充実 ② 地域課題へ取り組む事業を行う。

ブロック	公民館名	重点目標
北 ブ ロ ッ ク	神 田	① 公民館だよりやちいき情報局を活用した情報発信の充実を図る。 ② 地域団体と連携し、地域課題へ取り組む事業を行う。
	横 内	① 地域の特性を活かした学習機会の提供やニーズに沿った事業を展開する。 ② 公民館だより・ホームページによる情報発信の充実を図る。
	大 神	① 地域の人材を生かした多様な学習機会を提供する。 ② 各種地域団体・学校等と連携した事業を行う。
	岡 崎	① 地域住民が持っている多様な知識や技能を地域内に還元するため、地域の人材を活用した事業を積極的に展開する。 ② 公民館だよりやちいき情報局を活用し、地域の情報発信の充実を図る。 ③ 地域における子どもの読書活動推進のため、関係団体と協力して図書室機能を増強する。
	豊 田	① 多様な学習機会を提供し、楽しく学べる公民館を目指す。 ② 多様な主体との連携・協働により事業を実施する。
	城 島	① 公民館だよりやちいき情報局等による地域情報と公民館情報の発信に努め、地域にとって身近な公民館を目指す。 ② 地域団体と連携し、世代間交流できる事業を展開する。

ブロック	公民館名	重点目標
西 ブ ロ ッ ク	金 目	① 地域人材や地域団体、小・中学校などと連携し、「楽しく遊べる、学べる、集える」公民館を目指す。 ② ちいき情報局や市ウェブを活用して情報発信を強化、さらなる金目のPRを図る。
	金 田	① 地域の方々のニーズを把握し、公民館に親しみをもってもらえる事業を展開する。 ② ホームページ、ちいき情報局等を積極的に活用し、情報発信の充実を図る。
	土 屋	① 公民館だよりやホームページ、その他様々な媒体を積極的に活用して土屋の魅力を地区内外に発信する。 ② 地域の拠点として地域各種団体や小・中学校等との連携を強化するとともに積極的な支援を図る。
	吉 沢	① 地域団体や学校、公民館運営委員と連携し、地域資源（人・自然・歴史等）を活かした多様な学習機会の提供を行う。 ② 公民館だよりや公民館ホームページ、ちいき情報局など積極的に活用し、情報発信の充実を図る。
	旭 南	① 地域の各種団体と連携を図り、地域住民の多様化するニーズを意識した事業展開を行う。 ② 市ホームページ、ちいき情報局等を活用し、積極的な情報発信を行う。
	旭 北	① 地域の人材を生かした多様な学習機会を提供するとともに、各種地域団体・学校等と協力し地域をつなぐ連携事業を充実させる。 ② 次世代を担う若年層の育成に向けて、公民館事業等による体験学習を推進する。